

平成24年度 事務事業評価シート

※平成23年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	小江戸川越観光推進協議会運営事務				継続						
コード	57	-	23	-	01	-	00	予算事業名	小江戸川越観光推進協議会		
担当部署	産業観光部		観光課		観光推進担当		予算事業コード	会計 10	款 07	項 01	目 03

1. 事業の位置付けと関連計画等

第三次川越市総合計画後期基本計画における位置付け 位置付けなしの場合 法令による実施義務 義務ではない

基本目標(章)	4章 にぎわいに満ち、活力ある産業を育てるまち	根拠となる法令、条例等	小江戸川越観光推進協議会会則
方向性(節)	2節 観光による地域振興	個別計画等の名称	なし
施策	1 新たな観光事業の推進		
細施策	1 観光事業の企画・推進		

2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するのか)	市民の郷土意識の高揚及び地域の活性化のため、関係諸団体が一体となり、小江戸川越を広くPRし観光事業を推進する。
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	小江戸川越春まつり、小江戸川越花火大会、などのイベントを実施する。また、川越百万灯夏まつりや喜多院初大師などの催事への協力を行う。

3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算額		27,720	27,228	11,000	18,267	26,000	
事業費	A	27,720	27,228	8,000	18,267	26,000	26,000
	B	19,240	19,240	13,320	17,390	21,460	21,460
総コスト(C=A+B)		46,960	46,468	21,320	35,657	47,460	47,460
正規職員(1年間の従事人数)		2.60人	2.60人	1.80人	2.35人	2.90人	2.90人
臨時職員(1年間の従事人数)		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
国県支出金	D	0	0	0	0	0	0
その他特定財源	E	0	0	0	0	0	0
市の財政負担(=C-D-E)		46,960	46,468	21,320	35,657	47,460	47,460

※24年度、25年度の事業費、人件費は見込額
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

成果	中心指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	指標の定義
成果	観光客数	千人	6,047	6,275	6,097	6,027	観光客数(暦年)
活動	イベント実施件数	件	8	8	6	4	1年間のイベント実施件数
中心指標の考え方		本事業は、成果指標を中心に評価する。					
指標に基づく評価		東日本大震災の影響で、観光客数は減少の傾向にあったものの、8月の小江戸川越花火大会や3月の小江戸川越春まつりを実施できたことにより、観光客数をほぼ横ばいに維持できた。					

5. 事業の実施を通じた分析・評価

(1) 現在の課題と状況	効率性に課題
現在、花火大会、春まつり、新河岸川観光舟運、観光キャンペーン等を主催事業として行っているが、現状として、事業にかかる事務の大半は市観光課が行っている。イベントという性質上、市よりも観光協会の方が適していると考えられ、また、当協議会と観光協会の役割に重複する部分があるため、今後は、26年度に花火大会及び春まつりを、その他のイベントについては27年度に、(社)小江戸川越観光協会へ移管する予定。	
(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)	
他市においても、花火大会等のイベントを実質的に市役所で行っているのが大半だが、鴻巣市においては、商工会青年部が花火大会を主催している。	
(3) 事業を廃止・縮小したときの影響	
上記のように、当協議会で行っているイベント事業については段階的に観光協会へ移管する予定なので、当協議会の事業は縮小していくが、その分観光協会へイベント運営のノウハウを指導したり、補助金を上乗せする必要がある。	
(4) 所属長自己評価(今後の方向性)	改善(見直し)
今後は観光協会へイベント事業の移管を進めていくとともに、市(観光課)と観光協会の事業のすみ分けをより一層明確にしていく必要がある。	